

放課後等デイサービス 夢門塾戸塚原宿 自己評価表

記入日:	2024 年 12月 13日
事業所名: 夢門塾戸塚原宿	綿貫、太田、久保田、根本、佐藤、小泉、鈴木

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6	1		なるべく広く使えるように、あまり使わないものは倉庫にしまっている。
	②	職員の配置は適切である	5	2		人手不足になりそうときは事前に決めている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	5	2		毎日掃除はしているが、細かいところまではできていないので細かいところまでしていきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	2		昼礼で話してはいるが、まだ足りないと思うので少し時間を取って振り返りなどもしていきたい。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	7			継続していきます。
	⑥	自己評価の結果を公開している	6	1		ホームページに記載しています。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	1		研修に参加できなかった場合は資料を共有しています。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	5	2		半年に1度面談をするように努めている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	7			基本的には行えている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	7			固定化しないように努めています。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	7			買い物、外食、公共交通機関などで課題を設定して行っている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	7			保護者様の要望や状況に応じて必要そうな活動を計画しています。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			昼礼の際に、支援の内容や役割について確認している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			日誌にその日あったことを記載している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5	2		保護者様との面談の調整がギリギリになってしまっているのもう少し余裕を持って調整していきたい。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2		行えている部分、行えていない部分がある。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有（年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	1		学校との情報共有はできているところが多いが、一部出来ていないところもあるので共有できるようにしていく。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	3		4	学校等は情報共有を行っているが、保育所等とは行えていない為少しずつ情報共有できるようにしていきます。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	2	1	4	今のところ、障害福祉サービスに移行することがなかったため行えていないが、今後移行する際にはしっかりと共有していきます。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	2	研修は受けられていない
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	7			送迎時や連絡帳などで共通理解が出来るように努めている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1		契約時に説明をしている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	1		送迎時、面談時、電話、連絡帳などで相談に応じている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		2	5	今年度は保護者会ができなかったので、来年度はしっかりと準備をし行っていきます。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			苦情などがあった際には、職員で対応について協議し対応している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	7			毎月、夢通信や夢だよりなどを配っている。長期休暇やお出かけの際には詳細の紙を作り配っている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	7			十分に注意して行っている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			できるだけ、配慮している。
非常時などの対応	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている		3	4	地域の行事が日曜日にあることが多く、参加できていないが土曜などにある際には参加できるようにしていきたい。
	㉚	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5	2		誰でも対応が出来るようにマニュアルをしっかりと確認していく。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7			ご利用者の方々と定期的に行っている。
	㉜	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1		虐待防止の研修に参加している。
	㉝	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	7			ご利用者様の、生命にかかわることや周りの人に危害がある際には安全を守るために身体拘束を行う事を説明している。
	㉞	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている		3	4	該当者なし
	㉟	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6	1		ヒヤリハットの紙を書いている。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
今年度は保護者会が実施することが出来なかったため、来年度はしっかりと実施できるように準備をしていきます。						